第 10 講　明治時代の文化①

1　明治文化の特色

①日本文化の伝統を継承しつつ，西洋の近代文化を積極的に受け入れ，独特の新しい文化を築きあげる。

☆生活様式・思想など**東洋風と西洋風が混在**。

②当初は政府の強力な指導・育成の下(もと)に発展。

☆教育の普及・交通や通信の発達など。

③科学的精神の重要性が高まる。

☆不十分ではあったが，学問・文学・芸術などが政治・道徳・宗教から独立し発展。

④西洋近代文化の受容・発展が急速であったため，上辺(うわべ)だけのものに陥(おちい)りがち。

〈 ***Note*** 〉

２　明治時代の思想

①西洋思想の流入（明治10年代まで）

明六社(めいろくしゃ)の結成（1873年）⇒**「明六雑誌」**（1874年～ 75年）

☆**森有礼**(ありのり)**（薩摩藩出身，のち初代文部大臣）**を社長に，**加藤弘之**(ひろゆき)・**西周**(あまね)・津田真道(まみち)・西村茂樹(しげき)・箕作麟祥(みつくりりんしょう)（日本における“法律の元祖”）・**福沢諭吉**(ゆきち)・**中村正直**(まさなお)ら

A　**ドイツ流国家主義⇒保守的国権論**

あ　**加藤弘之**(ひろゆき)

『国体新論』『真政大意』で天賦人権思想を主張，のちスペンサー（英）の社会進化論の影響を受け**『人権新説』で国権論へ変説**。東京大学初代総裁。

い　**西周**(あまね)

1862年，文久の改革でオランダに留学し，帰国後に『万国公法』を翻訳。

初めて西洋哲学を紹介。また，『軍人訓戒(くんかい)』に続き**『軍人勅諭(ちょくゆ)』**を起草(きそう)。

う　津田真道(まみち)

文久の改革でオランダに留学し，帰国後初の西洋法学書『泰西(たいせい)国法論』を翻訳。

え　西村茂樹(しげき)

皇室中心の国民道徳の確立に尽力(じんりょく)し『日本道徳論』を著す。

B　**イギリス流功利(こうり)主義⇒**漸進(ぜんしん)的**民権論（立憲改進党系）**

あ　**福沢諭吉**(ゆきち)

『学問のすゝめ』『西洋事情』『文明論之概略(ぶんめいろんのがいりゃく)』『福翁(ふくおう)自伝』

☆のち新聞「時事新報」で脱亜論を発表（1885年），国権論を唱える。

い　**中村正直**(まさなお)

『西国立志編(さいごくりっしへん)』（スマイルズ『自助論(セルフヘルプ)』の翻訳(ほんやく)），**『自由之理(じゆうのことわり)』**（ミル『自由論(オン=リバティ)』の翻訳）

〈***Note***〉

C　**フランス流自由主義⇒急進的民権論（自由党系）**

あ　**中江兆民**（なかえちょうみん）**⇒“東洋のルソー”**

『民約訳解』（ルソー「社会契約論」の翻訳）『**三酔人経綸問答**（さんすいじんけいりんもんどう）』『**一年有半**（ゆうはん）』

い　**植木枝盛**（えもり）

『民権自由論』『天賦人権弁』

う　馬場辰猪（たつい）

『天賦人権論』

え　**大井憲太郎**〔馬城台次郎（ばじょうだいじろう）〕

加藤弘之と“民撰議院論争”を展開。のち朝鮮渡航をはかり大阪事件（1885年）を起こすなど，国権論を唱える。

---

②国家主義思想の台頭（明治20年代～）

日清戦争勝利の自信と三国干渉への憤激が，対外膨張（ぼうちょう）の国家主義へと向かわせた。

A　**平民主義〔平民的欧化主義〕**⇔政府による貴族的欧化主義

徳富蘇峰（とくとみそほう）らの**民友社**（みんゆうしゃ）

☆**雑誌「国民之友**（こくみんのとも）**」，新聞「国民新聞」**

☆徳富蘇峰は『新日本之青年』『将来之日本』の後，『大日本膨張（ぼうちょう）論』で国家主義に変節。『近世日本国民史』をライフワークとした。

B　**国粋**（こくすい）**主義〔国粋保存主義〕**

三宅雪嶺（せつれい）**，志賀重昂**（しげたか）**，杉浦重剛**（じゅうごう）ら**の政教社**

☆**雑誌「日本人」**（のち「日本及（および）日本人」）

☆三宅雪嶺は『真善美日本人』，志賀重昂は『日本風景論』『南洋時事』の著者。

C　**国民主義**

陸羯南（くがかつなん）ら

☆**新聞「日本」**

D　**日本主義**

高山樗牛（ちょぎゅう）・井上哲次郎らが，博文館の**総合雑誌「太陽」**誌上などで展開。

☆高山樗牛は歴史小説『滝口入道（たきぐちにゅうどう）』の著者。

〈 ***Note*** 〉

③反国家主義思想の成長（明治30年代～）

A　国家主義思想の低迷

国家目標の実現〔日露戦争の勝利〕≠生活の向上という実感。

☆第一高等学校生藤村操（みさお）の投身自殺（1903年，華厳（けごん）の滝）など，煩悶（はんもん）する青年を生み出す。

☆地方・個人の利益追求の風潮が高まり，第２次桂太郎内閣は**戊申詔書**（ぼしんしょうしょ）**（1908年）**や**地方改良運動（1909年～）**により国家主義を強調。

B　**社会主義**思想の成長

安部磯雄・片山潜（せん）（右派）や，**堺利彦**（としひこ）**・幸徳秋水**（こうとくしゅうすい）（左派）ら。

C　**社会運動**の発生

労働争議・小作争議などの増加

〈***Note***〉

３　明治時代の教育

①教育制度の整備

A　**文部省**の設置（**1871年**）

初代文部卿に**大木喬任**（肥前藩出身）が就任。

B　**学制**　（1872年，文部卿＝大木喬任）

同時に出された**「学事奨励に関する太政官布告〔被仰出書〕」**で理念を表明。

あ　**フランス流教育制度**を採用

い　**中央集権的な全国画一主義の学校体系を確立**。初等教育に重点を置き，義務教育の方針を発表，**国民皆学**を目指す。

☆全国を**８大学区**に分け，各大学区に大学校１と中学校32を設置。各中学区に小学校210を設置。

う　強引な実施や過大な経済負担，教育内容の不満などもあり，各地で**学制反対一揆**が発生した。

C　東京師範学校・東京女学校（1872年），東京女子師範学校（1874年），**東京大学（1877年）**の開設。

D　**教育令**（**1879年**，文部卿＝寺島宗則）

この年，元田永孚起草の『教学大旨』も出される。

あ　**アメリカ流教育制度**を採用。義務教育は４年のうち16カ月。

い　**地方の実情に合わせ**，小学校の設立は町や村の自由裁量とする。

う　小学校を閉鎖・廃止する町村が続出。**“自由教育令”**と各方面から非難される。

E　**改正教育令（1880年）**

あ　**再び中央集権的な教育制度を採用，ドイツ流の国家主義的教育**を目指す。義務教育は３年のうち16週間。

い　修身を筆頭科目とし，国家の基準を明示，教育統制を強化。

〈 ***Note*** 〉

F　**私立学校**の設立

1868年	**慶應義塾**（けいおうぎじゅく）	**（福沢諭吉）**	のち**慶應義塾大学**
1875年	**同志社英学校**（どうししゃ）	**（新島襄）**（にいじまじょう）	のち同志社大学
1877年	学習院		のち学習院大学
1880年	東京法学社		のち法政大学
1881年	明治法律学校	（岸本辰雄（たつお）ら）	のち明治大学
1882年	**東京専門学校**	**（大隈重信）**	のち**早稲田大学**
1885年	英吉利（イギリス）法律学校		のち中央大学
1886年	関西法律学校		のち関西大学
1887年	哲学館	（井上円了（えんりょう））	のち東洋大学
1889年	日本法律学校	（山田顕義（あきよし））	のち日本大学
1900年	**女子英学塾**	**（津田梅子）**	のち**津田塾大学**
	東京女医学校	（吉岡弥生（やよい））	のち東京女子医科大学
1901年	日本女子大学校	（成瀬仁蔵（なるせじんぞう））	のち日本女子大学

〈***Note***〉

②国家主義教育の強化（学校教育制度の確立）

A　**学校令**（1886年，文部大臣＝**森有礼**）

　あ　**ドイツ流国家主義的教育制度**

　い　帝国大学令・中学校令・小学校令（1890年に改正）・師範学校令の総称。

　う　**義務教育期間**を尋常小学校の**４年間**とし，教科書は**検定制**とする。

B　**教育勅語〔教育ニ関スル勅語〕**（1890年，**元田永孚・井上毅が起草**）

「忠君愛国」「忠孝一致」を強調した国家主義的教育理念，儒教的道徳思想。

☆翌1891年，第一高等学校で**内村鑑三不敬事件**が起こる。

C　高等学校令（1894年），実業学校令・高等女学校令・私立学校令（1899年）

D　**小学校令再改正**（1900年）

市町村に小学校設置義務を課し，４年間の**義務教育を無償化**。

☆とくに女子の就学率が大幅に伸張，1902年には就学率92％を超える。

E　教科書疑獄事件　（1902年）

小学校教科書の採用をめぐる贈収賄事件。

F　**国定教科書**　　　（1903年）

小学校の教科書が，自由採択制⇒開申制⇒認可制⇒検定制を経て，**国定制**となる。

G　専門学校令　　　（1903年）

中学・高等女学校卒業を入学資格とする，修業年限３年以上の高等教育機関。

H　**小学校令再々改正**（1907年）

義務教育期間を６年に延長，就学率は1911年に98％を超える。

I　**南北朝正閏問題**　（1911年）

“南北朝”を並立と記述した，文部省の**喜田貞吉**が免官となる。

☆以後“南北朝”は“吉野朝”と記述され，北朝の天皇は削除された。

〈*Note*〉

４　明治時代の学問

①明治期の来日外国人（外国人教師〔御雇(おやとい)外国人〕など）

A　法学

あ　ボアソナード（仏）　刑法・民法など諸法典の編纂

い　ロエスレル　（独）　憲法起草の助言

う　モッセ　（独）　地方制度の助言，憲法起草の助言

B　宗教（プロテスタント）

あ　ヘボン　（米）　伝道・語学・医療⇒明治学院，『和英語林(ごりん)集成』

い　フルベッキ　（米）　伝道・語学・政府顧問

う　ブラウン　（米）　伝道・語学

え　ジェーンズ　（米）　伝道・語学⇒熊本洋学校

C　教育

あ　クラーク　（米）　札幌農学校

い　マレー　（米）　女子教育・政府顧問

D　哲学

あ　ケーベル　（露）　ドイツ哲学⇒西洋的教養の紹介

い　フェノロサ　（米）　哲学，日本美術の再評価

E　歴史

リース　（独）　西洋史⇒実証主義歴史学の紹介

F　文学

ハーン　（英）　小説　⇒日本名は小泉八雲(やくも)，『怪談』など

G　理科

あ　グリフィス　（米）　化学

い　モース　（米）　動物学・考古学⇒進化論の紹介，大森貝塚の発見

う　ナウマン　（独）　地質学⇒フォッサマグナの指摘

え　ミルン　（英）　地震学

H　医学

あ　ホフマン　（独）　医学

い　ベルツ　（独）　医学　⇒内科学，『ベルツの日記』を著す

う　スクリバ　（独）　医学　⇒外科学

I　産業

あ　ケプロン　（米）　北海道の開拓

い　ダイアー　（英）　工学　⇒工部大学校

〈 ***Note*** 〉

J　美術

あ　ラグーザ　（伊）　彫刻　⇒工部美術学校で彫刻を教授

い　フォンタネージ（伊）　洋画　⇒工部美術学校で洋画を教授

う　キヨソネ　（伊）　銅版画⇒大蔵省で紙幣・切手の原版を製作

え　ワーグマン　（英）　洋画　⇒「絵入(えいり)ロンドン＝ニューズ」特派員として来日，「ジャパン＝パンチ」を刊行。

お　ビゴー　（仏）　風刺画⇒漫画雑誌「トバエ」に風刺画を掲載

K　建築

コンドル　（英）　建築　⇒工部大学校に招かれ，鹿鳴館・ニコライ堂・旧岩崎(いわさき)邸などを設計。

〈 ***Note*** 〉

②明治期の自然科学

A　医学

あ　北里柴三郎（きたざとしばさぶろう）⇒ドイツに留学，コッホに学ぶ

☆破傷風菌（はしょうふうきん）の純粋培養（じゅんすいばいよう）に成功，ペスト菌を発見。伝染病研究所の初代所長，のち北里研究所を設立。

い　志賀潔（しがきよし）　⇒伝染病研究所で学び，ドイツに留学。

☆赤痢菌（せきりきん）の発見

B　薬学

あ　高峰譲吉（たかみねじょうきち）

☆アドレナリン（強心薬）の発見，タカジアスターゼ（消化薬）の創製

い　鈴木梅太郎

☆米ぬかから，オリザニン〔ビタミン B_1〕を発見。

う　秦佐八郎（はたさはちろう）⇒伝染病研究所で学び，ドイツに留学

☆サルバルサンの発見

C　地震学

大森房吉（ふさきち）⇒ミルンに学ぶ

☆大森式地震計の発明

D　天文学

木村栄（ひさし）

☆緯度変化公式のΖ項（ゼットこう）を発見

E　物理学

あ　長岡半太郎

☆原子構造の研究

い　田中館愛橘（たなかだてあいきつ）

☆地磁気の測定，ローマ字・メートル法の普及にも寄与

F　応用化学

下瀬雅允（しもせまさちか）

☆下瀬火薬の発明

G　植物学

牧野富太郎（とみたろう）

☆独学で植物の分類法を発見

H　数学

菊池大麓（だいろく）

☆近代数学の導入

〈 ***Note*** 〉

③明治期の人文・社会科学

A　哲学

西周・井上哲次郎ら

B　日本文学

芳賀矢一（文献学）・藤岡作太郎（文学史）ら

C　**日本史学**

東京帝国大学に**史料編纂掛**が設置され，『**大日本史料**』や『大日本古文書』を編纂。

あ　**田口卯吉**⇒「東京経済雑誌」を創刊するなど，経済学者としても活躍。

☆ギゾー（仏）やバックル（英）らの文明史観（＝文明発展の法則性を指摘）の影響を受け，『**日本開化小史**』を著す。

い　**久米邦武**⇒岩倉遣外使節団に同行，「特命全権大使米欧回覧実記」を編集。

☆論文「**神道は祭天の古俗**」を発表，帝国大学を追われる（1891年～92年）。

D　東洋史学

那珂通世ら

E　法学

箕作麟祥・**梅謙次郎**・**穂積八束**・穂積陳重ら

☆民法典論争後はドイツ法学が支配的となる。

F　経済学

イギリス経済学の導入⇒ドイツ流が主流に

〈 ***Note*** 〉

第 10 講　文化史確認テスト

1　1873年に結成された明六社の社長で，初代文部大臣となった人物は？

①森有礼　②加藤弘之　③中村正直　④中江兆民

2　福沢諭吉の著書でないものを一つ選べ。

①西洋事情　②文明論之概略　③学問のすゝめ　④西国立志編

3　1872年，全国画一的な学制を発布した初代文部卿とは？

①大木喬任　②江藤新平　③副島種臣　④大隈重信

4　幕末に来日したプロテスタントの宣教師で，初の和英辞書『和英語林集成』を編纂し，明治学院を創設したアメリカ人とは？

①ヘボン　②フルベッキ　③ブラウン　④ジェーンズ

5　民友社を設立し雑誌「国民之友」を発行，平民的欧化主義を唱えた人物とは？

①徳富蘇峰　②徳冨蘆花　③三宅雪嶺　④陸羯南

6　博文館の総合雑誌「太陽」誌上で日本主義を唱えた，『滝口入道』の著者とは？

①志賀重昂　②杉浦重剛　③高山樗牛　④井上哲次郎

7　密航したアメリカから帰国し，京都に同志社英学校を設立した人物は？

①中浜万次郎〔ジョン万次郎〕　②浜田彦蔵　③新島襄　④成瀬仁蔵

8　学校令が制定された年は？

①1879年　②1886年　③1890年　④1903年

9　教育勅語〔教育ニ関スル勅語〕を起草した元田永孚・井上毅の出身藩とは？
①薩摩藩　②長州藩　③越前藩　④熊本藩

10　1891年，不敬事件を起こした第一高等中学校嘱託教員であったキリスト教徒とは？

①植村正久　②海老名弾正　③内村鑑三　④新渡戸稲造

11　フォッサ＝マグナを指摘したドイツ人地質学者とは？

①リース　②ナウマン　③ベルツ　④メッケル

12　イギリス人ダイアー（工学）やコンドル（建築学）が招かれた官立学校とは？

①工部大学校　②工部美術学校　③東京美術学校　④熊本洋学校

13　伝染病研究所のちドイツで学び，赤痢菌を発見した学者とは？

①北里柴三郎　②志賀潔　③秦佐八郎　④高峰譲吉

14　原子構造の研究で有名な学者とは？

①鈴木梅太郎　②大森房吉　③長岡半太郎　④牧野富太郎

15　『日本開化小史』を著し，『東京経済雑誌』を創刊した学者とは？

①西周　②田口卯吉　③久米邦武　④喜田貞吉

解答

1	①	2	④	3	①	4	①	5	①
6	③	7	③	8	②	9	④	10	③
11	②	12	①	13	②	14	③	15	②